

ドラッカー研究所米国株 ファンド（資産成長型）

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2026年6月19日)

(作成対象期間 2025年12月20日～2026年6月19日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限（設定日：2022年12月20日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ドラッカー研究所米国株マ ザーファンドの受益証券	
	ドラッカー研究所 米国株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株 式および店頭登録株式（上場 予定および店頭登録予定を含 みます。また、D R（預託証 券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、信託財産の成長に資することを目的に、 配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案 して分配金額を決定します。ただし、配当等 収益が少額の場合には、分配を行なわないこ とがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、米国株式の中から、企業の
無形資産価値の高さに着目してポートフォリ
オを構築し、信託財産の成長をめざしており
ます。当作成期につきましてもそれに沿った
運用を行ないました。ここに、運用状況をご
報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3 期末 (2024年 6 月19日)	19,300	0	33.1	17,157	28.8	98.6	—	29,438
4 期末 (2024年12月19日)	19,412	0	0.6	18,094	5.5	98.8	—	32,767
5 期末 (2025年 6 月19日)	18,460	0	△ 4.9	17,319	△ 4.3	99.1	—	32,688
6 期末 (2025年12月19日)	23,410	0	26.8	21,187	22.3	99.2	—	35,503
7 期末 (2026年 6 月19日)	27,367	0	16.9	24,360	15.0	98.7	—	39,859

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
※当ファンドに対し参考指数を記載いたしました。参考指数は運用成果の優劣を評価することを目的とするものではなく、ファンドの運用状況の相対的な位置づけや商品性の理解に資する情報提供の充実を目的としており、原則として投資対象資産の市場動向を示す代表的な指数等を使用しております。

S & P 500指数 (「当インデックス」) は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJI」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

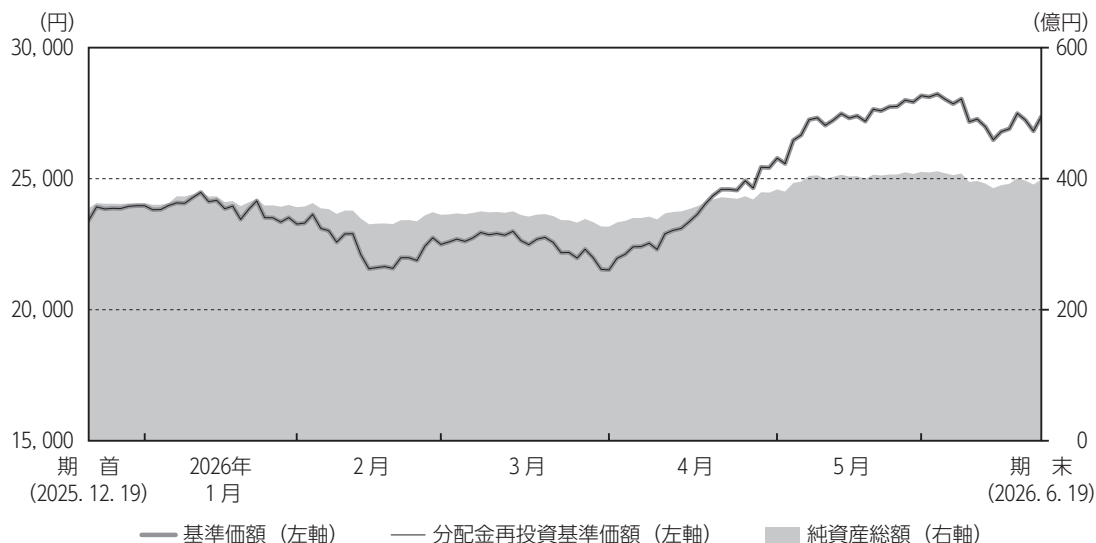
ドロッカー研究所は、ドロッカー研究所データおよびファンド計算のためにドロッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドロッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行ないません。ドロッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所はいかなる保証もしません。
ドロッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドロッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドロッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドロッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行ないません。

“The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of, and has not approved, authorized, or reviewed the terms or any other aspect of the DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE), and is not involved in the provision of this product or service.”
Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行なっていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：23,410円

期末：27,367円（分配金0円）

騰落率：16.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況の上昇と米ドル円為替相場の上昇（円安）を受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ドロッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入 比 率	株式先物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年12月19日	円 23,410	% —	21,187	% —	% 99.2	% —
12月末	23,972	2.4	21,698	2.4	99.6	—
2026年 1 月末	23,266	△ 0.6	21,504	1.5	98.7	—
2 月末	22,496	△ 3.9	21,632	2.1	98.1	—
3 月末	21,521	△ 8.1	20,399	△ 3.7	99.5	—
4 月末	25,784	10.1	23,031	8.7	99.1	—
5 月末	28,167	20.3	24,277	14.6	98.7	—
(期末) 2026年 6 月19日	27,367	16.9	24,360	15.0	98.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 12. 20 ~ 2026. 6. 19)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ決定や流動性供給策を背景とした金融環境の改善期待に加え、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、おおむね横ばいで推移しました。その後、2月末に米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、3月にはイランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり、大幅に下落しました。4月以降は、A I・半導体関連株の集中物色で急反発し、米国とイランの和平交渉の進展期待も相場を押し上げ、上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、方向感のない動きとなりました。2026年1月以降は、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから米ドル高が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受け、円高米ドル安となりました。3月に入ると、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いは限定的となり、米ドルは円に対して上昇しました。4月末から5月上旬に日本が円買いの為替介入を実施したことで、幅広い通貨に対して円高が進行しましたが、米国とイランの和平交渉進展への期待による市場心理の改善などから米ドル円は上昇し、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025. 12. 20 ~ 2026. 6. 19)

■当ファンド

当作成期を通じて「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

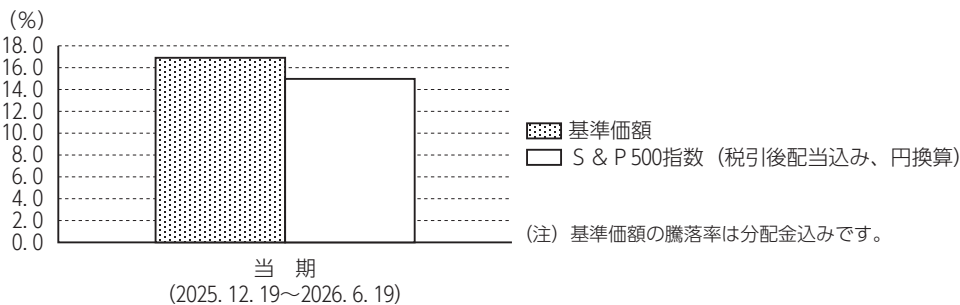
■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、A I（人工知能）インフラ投資の広がりを背景に、データセンター向け半導体需要や業績改善期待が意識された INTEL CORP や ADVANCED MICRO DEVICES、A I 向けネットワーク需要の拡大が評価された CISCO SYSTEMS INC などがプラスに寄与しました。また、クラウド事業の高成長が確認された ALPHABET INC や、車載・I o T 分野などへの事業拡大が評価された QUALCOMM INC も基準価額を押し上げました。一方で、慎重な業績見通しが嫌気された INTUIT INC、生成 A I を活用した新興サービスとの競争激化が意識された ADOBE INC、成長鈍化懸念が意識された AUTODESK INC や PAYPAL HOLDINGS INC などがマイナス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年12月20日 ～2026年 6 月19日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	17,366

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「ドラッカー研究所米国株マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

■ドラッカー研究所米国株マザーファンド

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドラッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 12. 20～2026. 6. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	197円	0. 809%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は24, 342円です。
(投 信 会 社)	(107)	(0. 439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(87)	(0. 357)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 002	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 002)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	1	0. 005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	199	0. 817	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

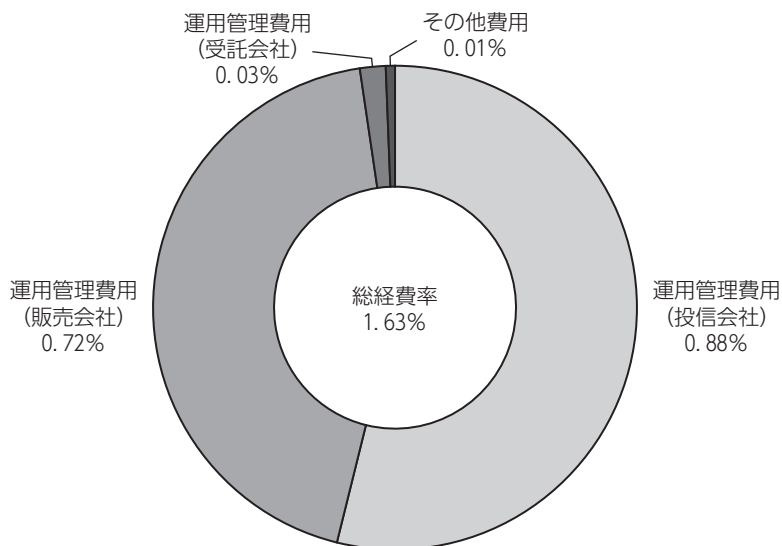
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ドラッカー研究所米国株ファンド（資産成長型）

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

2025年12月20日から2026年 6月19日まで

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ドラッカー研究所 米国株マザーファンド	575, 048	1, 459, 928	1, 255, 491	3, 305, 231

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合
(2025年12月20日から2026年 6月19日まで)

項 目	当 期
	ドラッカー研究所米国株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	13, 585, 882千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	36, 033, 478千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0. 37

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ドラッカー研究所米国株 マザーファンド	14, 325, 849	13, 645, 407	39, 855, 506

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 6月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ドラッカー研究所米国株 マザーファンド	39, 855, 506	99. 0
コール・ローン等、その他	410, 422	1. 0
投資信託財産総額	40, 265, 928	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝161. 17円です。

(注 3) ドラッカー研究所米国株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (39, 862, 951千円) の投資信託財産総額 (39, 893, 137千円) に対する比率は、99. 9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 6月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	40, 265, 928, 885円
コール・ローン等	372, 491, 128
ドラッカー研究所米国株 マザーファンド (評価額)	39, 855, 506, 757
未収入金	37, 931, 000
(B) 負債	406, 783, 127
未払解約金	109, 882, 702
未払信託報酬	295, 897, 471
その他未払費用	1, 002, 954
(C) 純資産総額 (A－B)	39, 859, 145, 758
元本	14, 564, 918, 057
次期繰越損益金	25, 294, 227, 701
(D) 受益権総口数	14, 564, 918, 057口
1万口当り基準価額 (C/D)	27, 367円

* 期首における元本額は15, 165, 888, 138円、当作成期間中における追加設定元本額は1, 682, 511, 116円、同解約元本額は2, 283, 481, 197円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は27, 367円です。

■損益の状況

当期 自 2025年12月20日 至 2026年 6 月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	694, 931円
受取利息	694, 931
(B) 有価証券売買損益	5, 922, 184, 919
売買益	6, 286, 552, 786
売買損	△ 364, 367, 867
(C) 信託報酬等	△ 296, 900, 425
(D) 当期損益金 (A + B + C)	5, 625, 979, 425
(E) 前期繰越損益金	8, 567, 736, 267
(F) 追加信託差損益金	11, 100, 512, 009
(配当等相当額)	(6, 996, 985, 313)
(売買損益相当額)	(4, 103, 526, 696)
(G) 合計 (D + E + F)	25, 294, 227, 701
次期繰越損益金 (G)	25, 294, 227, 701
追加信託差損益金	11, 100, 512, 009
(配当等相当額)	(6, 996, 985, 313)
(売買損益相当額)	(4, 103, 526, 696)
分配準備積立金	14, 193, 715, 692

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	665, 241円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	5, 625, 314, 184
(c) 収益調整金	11, 100, 512, 009
(d) 分配準備積立金	8, 567, 736, 267
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	25, 294, 227, 701
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	25, 294, 227, 701
(h) 受益権総口数	14, 564, 918, 057口

ドロッカー研究所米国株マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2026年6月19日）

（作成対象期間 2025年12月20日～2026年6月19日）

ドロッカー研究所米国株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

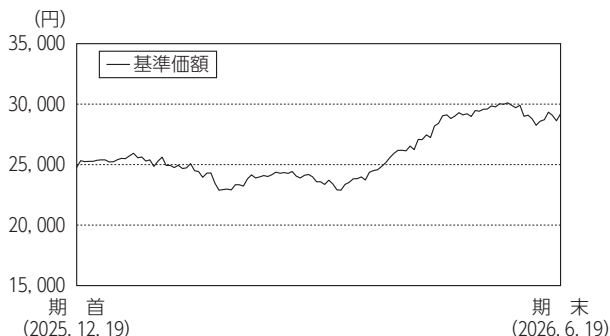
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
(期首) 2025年12月19日	24,781	—	21,187	—	99.3	—
12月末	25,388	2.4	21,698	2.4	99.6	—
2026年 1 月末	24,677	△ 0.4	21,504	1.5	98.7	—
2 月末	23,890	△ 3.6	21,632	2.1	98.1	—
3 月末	22,887	△ 7.6	20,399	△ 3.7	99.5	—
4 月末	27,458	10.8	23,031	8.7	99.1	—
5 月末	30,034	21.2	24,277	14.6	98.7	—
(期末) 2026年 6 月19日	29,208	17.9	24,360	15.0	98.7	—

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※当ファンドに対し参考指数を記載いたしました。参考指数は運用成果の優劣を評価することを目的とするものではなく、ファンドの運用状況の相対的な位置づけや商品性の理解に資する情報提供の充実に目的としており、原則として投資対象資産の市場動向を示す代表的な指数等を使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：24,781円 期末：29,208円 騰落率：17.9%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市場の上昇と米ドル円為替相場の上昇 (円安) を受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、当作成期首より、F R B (米国連邦準備制度理事會) の利下げ決定や流動性供給策を背景とした金融環境の改善期待に加え、半導体関連企業的好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年 1 月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I (人工知能) 脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、おおむね横ばいで推移しました。その後、2 月末に米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、3 月にはイランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり、大幅に下落しました。4 月以降は、A I・半導体関連株の集中物色で急反発し、米国とイランの和平交渉の進展期待も相場を押し上げ、上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル円為替相場は上昇 (円安) しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首より、方向感のない動きとなりました。2026年 1 月以降は、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから米ドル高が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受け、円高米ドル安となりました。3 月に入ると、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いは限定的となり、米ドルは円に対して上昇しました。4 月末から 5 月上旬に日本が円買いの為替介入を実施したことで、幅広い通貨に対して円高が進行しましたが、米国とイランの和平交渉進展への期待による市場心理の改善などから米ドル円は上昇し、当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。「非財務情報」や「無形資産」の評価にあたっては、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、A I (人工知能) インフラ投資の広がりや背景に、データセンター向け半導体需要や業績改善期待が意識された INTEL CORP や ADVANCED MICRO DEVICES、A I 向けネットワーク需要の拡大が評価された CISCO SYSTEMS INC などプラスに寄りました。また、クラウド事業の高成長が確認された ALPHABET INC や、車載・I o T 分野などへの事業拡大が評価された QUALCOMM INC も基準価額を押し上げました。一方で、慎重な業績見通しが嫌気された INTUIT INC、生成 A I を活用した新興サービスとの競争激化が意識された ADOBE INC、成長鈍化懸念が意識された AUTODESK INC や PAYPAL HOLDINGS INC などがマイナス要因となりました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成

ドロッカー研究所米国株マザーファンド

期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドは、顧客満足度や従業員満足度といった「非財務情報」、また特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「ドロッカー研究所スコア」を活用し、「非財務情報」や「無形資産」を評価することで、従業員の意識やスキル、組織力やマネジメント力、顧客からの評価など企業として好業績を出せる基盤があると考えられる企業に投資を行う方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合 計	1

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■主要な売買銘柄

株 式

当 期				期 付			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
INTUITIVE SURGICAL INC (アメリカ)	13. 59	1, 060, 999	78, 072	INTEL CORPORATION (アメリカ)	107. 769	1, 627, 750	15, 104
MONDELEZ INTERNATIONAL INC CLASS A (アメリカ)	85. 527	834, 969	9, 762	ADVANCED MICRO DEVICES INC (アメリカ)	13. 405	1, 013, 482	75, 604
INTUIT INC (アメリカ)	11. 421	650, 731	56, 976	NVIDIA CORP (アメリカ)	20. 881	639, 831	30, 641
NVIDIA CORP (アメリカ)	12. 502	387, 432	30, 989	LULULEMON ATHLETICA INC (アメリカ)	29. 027	620, 580	21, 379
AUTODESK INC (アメリカ)	8. 271	325, 300	39, 330	ALPHABET INC CLASS C (アメリカ)	9. 856	506, 437	51, 383
ADOBE INC (アメリカ)	7. 133	295, 669	41, 450	CISCO SYSTEMS INC (アメリカ)	27. 63	451, 860	16, 353
MICROSOFT CORP (アメリカ)	3. 546	245, 538	69, 243	QUALCOMM INC (アメリカ)	11. 492	422, 522	36, 766
PAYPAL HOLDINGS INC (アメリカ)	32. 393	238, 099	7, 350	EBAY INC (アメリカ)	20. 858	335, 767	16, 097
EXPEDIA GROUP INC (アメリカ)	6. 498	233, 125	35, 876	LINDE PLC (アイルランド)	4. 045	321, 933	79, 587
APPLE INC (アメリカ)	4. 336	194, 662	44, 894	AMAZON COM INC (アメリカ)	8. 377	300, 087	35, 822

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

株 式

(2025年12月20日から2026年 6 月19日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 2, 294. 55 (ー)	千アメリカ・ドル 36, 587 (ー)	百株 2, 942. 11	千アメリカ・ドル 48, 883
		(ー)	(ー)		

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)						
VERISK ANALYTICS INC		210. 11	262. 1	4, 555	734, 177	資本財・サービス
ADOBE INC		222. 65	282. 43	5, 511	888, 353	情報技術
LULULEMON ATHLETICA INC		285. 27	—	—	—	一般消費財・サービス
AUTODESK INC		240. 09	310. 38	6, 015	969, 564	情報技術
APPLE INC		807. 28	812. 23	24, 205	3, 901, 162	情報技術
CISCO SYSTEMS INC		1, 257. 31	1, 004. 01	12, 001	1, 934, 351	情報技術
COSTCO WHOLESALE CORP		100. 2	93. 56	8, 901	1, 434, 697	生活必需品
EXPEDIA GROUP INC		212. 36	266. 23	6, 413	1, 033, 660	一般消費財・サービス
AMAZON COM INC		735. 87	666. 49	16, 288	2, 625, 193	一般消費財・サービス
ALPHABET INC CLASS C		699. 42	634. 42	23, 312	3, 757, 259	コミュニケーション・サービス
PEPSICO INC		522	518. 84	7, 368	1, 187, 591	生活必需品
QUALCOMM INC		487. 9	425. 66	9, 624	1, 551, 196	情報技術
AIRBNB INC CLASS A		483. 23	432. 06	6, 152	991, 673	一般消費財・サービス
NVIDIA CORP		1, 220. 19	1, 136. 4	23, 942	3, 858, 862	情報技術
LINDE PLC		181. 19	154. 53	7, 914	1, 275, 540	素材
ADVANCED MICRO DEVICES INC		411. 15	290. 72	15, 622	2, 517, 865	情報技術
AMGEN INC		203. 18	203. 34	6, 864	1, 106, 393	ヘルスケア
INTEL CORPORATION		2, 116. 46	1, 077. 77	14, 441	2, 327, 462	情報技術
INTUITIVE SURGICAL INC		—	131. 81	5, 361	864, 156	ヘルスケア
MICROSOFT CORP		464. 89	467. 44	17, 734	2, 858, 297	情報技術
MONDELEZ INTERNATIONAL INC CLASS A		—	855. 27	5, 141	828, 717	生活必需品
EBAY INC		732. 66	537. 08	5, 813	936, 938	一般消費財・サービス
PAYPAL HOLDINGS INC		852. 48	1, 128. 3	4, 796	773, 036	金融
INTUIT INC		122. 22	229. 48	6, 127	987, 507	情報技術
ファンド合計	株数、金額	12, 568. 11	11, 920. 55	244, 112	39, 343, 659	
	銘柄数＜比率＞	22銘柄	23銘柄		<98. 7%>	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

*同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 6 月19日現在		
項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	39, 343, 659	98. 6
コール・ローン等、その他	549, 478	1. 4
投資信託財産総額	39, 893, 137	100. 0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
 (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6 月19日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝161. 17円です。
 (注 3) 当期末における外貨建純資産 (39, 862, 951千円) の投資信託財産総額 (39, 893, 137千円) に対する比率は、99. 9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 6 月19日現在		
項 目	当 期 末	
(A) 資産	39, 935, 435, 169円	
コール・ローン等	518, 505, 615	
株式 (評価額)	39, 343, 659, 106	
未収入金	42, 300, 000	
未収配当金	30, 970, 448	
(B) 負債	80, 336, 417	
未払金	42, 405, 417	
未払解約金	37, 931, 000	
(C) 純資産総額 (A－B)	39, 855, 098, 752	
元本	13, 645, 407, 682	
次期繰越損益金	26, 209, 691, 070	
(D) 受益権総口数	13, 645, 407, 682口	
1 万口当り基準価額 (C／D)	29, 208円	

* 期首における元本額は14, 325, 849, 902円、当作成期間中における追加設定元本額は575, 048, 983円、同解約元本額は1, 255, 491, 203円です。
 * 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：ドラッカー研究所米国株ファンド (資産成長型) 13, 645, 407, 682円
 * 当期末の計算口数当りの純資産額は29, 208円です。

■損益の状況

当期 自 2025年12月20日 至 2026年 6 月19日		
項 目	当 期	
(A) 配当等収益	122, 035, 170円	
受取配当金	121, 000, 434	
受取利息	1, 034, 736	
(B) 有価証券売買損益	6, 077, 705, 389	
売買益	10, 109, 007, 816	
売買損	△	4, 031, 302, 427
(C) その他費用	△	869, 363
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	6, 198, 871, 196	
(E) 前期繰越損益金	21, 175, 681, 541	
(F) 解約差損益金	△	2, 049, 740, 684
(G) 追加信託差損益金	884, 879, 017	
(H) 合計 (D＋E＋F＋G)	26, 209, 691, 070	
次期繰越損益金 (H)	26, 209, 691, 070	

(注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
 (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数（「当インデックス」）はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ドラッカー研究所は、ドラッカー研究所データおよびファンド計算のためにドラッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドラッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドラッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドラッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドラッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドラッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

"The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of, and has not approved, authorized, or reviewed the terms or any other aspect of the DRUCKER INSTITUTE US EQUITY MOTHER FUND, and is not involved in the provision of this product or service."

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。